

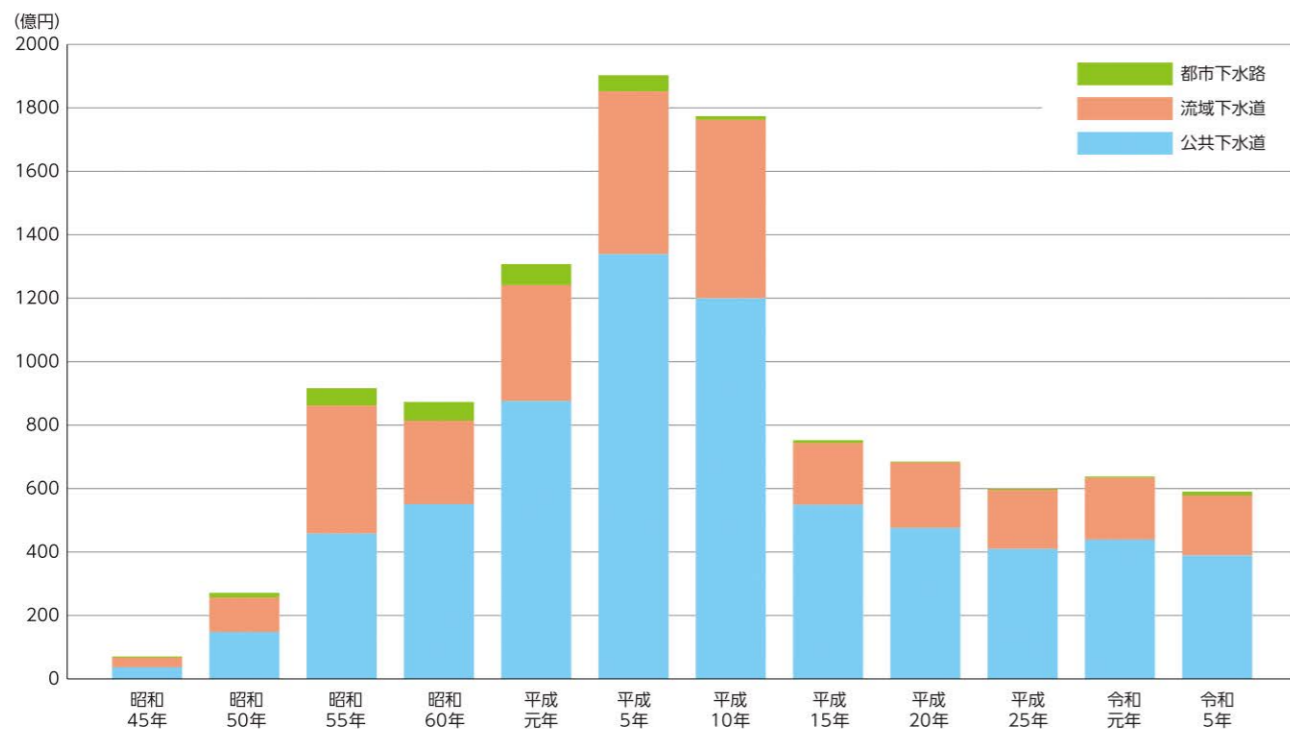
事業費

埼玉県内の令和5年度下水道建設事業費内訳



※促進事業を除く

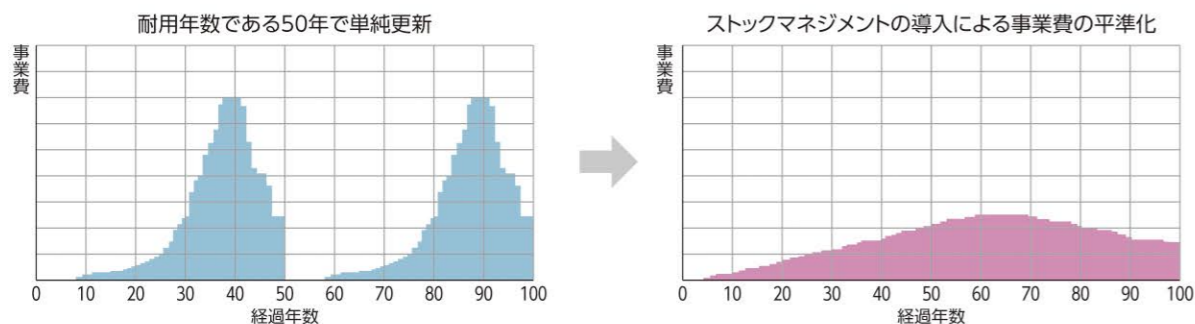
埼玉県内の建設事業費(総事業費)の推移



下水道事業の持続に向けて

公共下水道や流域下水道は事業着手から50年以上が経過しており、今後、本格的な改築・更新時期を迎えます。そのような中、事業費等の平準化を図りながら各種改築・更新を計画的、効率的に執行するため、「ストックマネジメント計画」を策定しています。

ストックマネジメントの導入による事業費の平準化イメージ 国土交通省資料より



下水道使用料

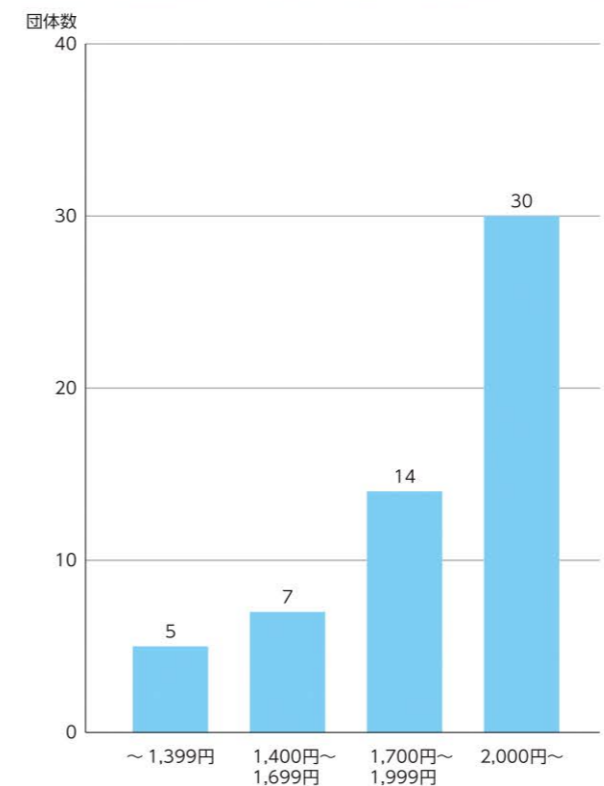
使用水量のお知らせ

項目	単位数	単価	金額
基本料金	1260	4.418円	5,563円
超過料金	1223	4.418円	5,403円
計			10,966円

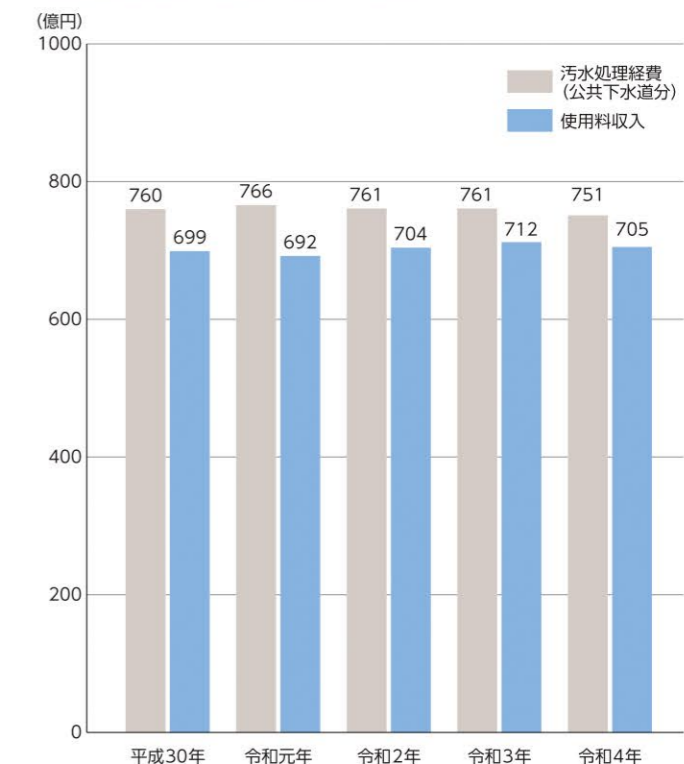
下水道使用料は多くの市町で水道使用料とともに請求されます。使用料金は上水道の使用量を基準に算定されます。公共下水道管理者(主に市町村)は条例によって使用料の額を定め、下水道使用者から徴収した使用料を汚水処理経費に充て、事業運営を行っています。



公共下水道使用料(令和5年度末) 家庭用20m³/月

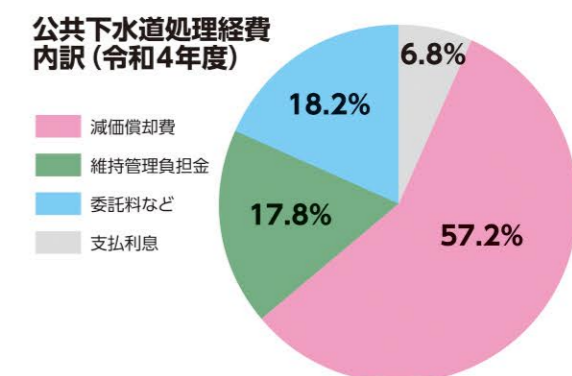


汚水処理経費・使用料収入の推移



公共下水道処理経費

公共下水道処理経費は機械や設備の導入費をその使用期間に応じて計上する減価償却費や、公共下水道からの下水を受け入れる流域下水道の維持管理に係る負担金(維持管理負担金)、民間事業者への委託料などで構成されます。また、地方債の返済(償還)に充てる支払利息も含まれます。



下水道を知っていただくために



高校生が制作した壁画 元荒川水循環センター（桶川市）

埼玉デザインマンホール人気投票

県内のデザインマンホールを広く周知し、その魅力を発信するため、「第2回埼玉デザインマンホール人気投票」を実施しました。

一般部門とキャラクター部門の2部門で、8,285票の投票がありました。

- 一般部門 1位 深谷市 2,159票 2位 川越市 980票 3位 加須市 641票
- キャラクター部門 1位 深谷市 3,179票 2位 桶川市 648票 3位 入間市 536票



令和5年度表彰式の様子

壁画制作

県立高校の美術部員が下水処理場の見学通路をキャンパスに壁画を制作しました。複数の学校が協力し合い、鮮やかな色彩で描かれた壁画は施設見学の目玉となっています。

- 制作場所
- 平成30年度 新河岸川水循環センター（和光市）
 - 令和元年度 元荒川水循環センター（桶川市）
 - 令和5年度 古利根川水循環センター（久喜市）
 - 令和6年度 荒川水循環センター（戸田市）



制作風景

フォトコンテスト

水循環センターの魅力を再発見し、下水道への理解や関心を深めてもらえるようにフォトコンテストを開催しています。

- 実施場所
- 令和4年度 荒川（戸田市）、新河岸川（和光市）水循環センター
 - 令和5年度 古利根川（久喜市）、中川（三郷市）水循環センター
 - 令和6年度 新河岸川水循環センター（和光市）



令和6年度入賞作品

下水道マンガ

子どもたちに下水道への理解や関心を高めていただけるように、県内の高校生が下水道マンガを制作しました。

また、下水処理場の社会科見学に際し、下水道を事前学習していただくため、先生向けの解説書やシラバスも作成しました。



下水道マンガ

「下水道の日」作品コンクール

下水道について多くの方に興味、関心をもっていただけるように、県内の小・中学生を中心に下水道にまつわる作品（ポスター、書道、標語）を募集し、表彰しています。

- 応募作品数
- 令和3年度 19,750点
 - 令和4年度 17,606点
 - 令和5年度 13,536点
 - 令和6年度 10,654点



入賞作品

地域に密着したイベント

地元住民を中心とした県民に下水道について関心を持ってもらえるよう、戸田市にある荒川水循環センターでは「荒川・下水道フェスタ」を、久喜市にある古利根川水循環センターでは「ふれあいホテル祭り」を開催しています。

地元住民によるパフォーマンスや様々なブースの出展など、子どもから大人まで楽しめるイベントとなっています。



イベント風景

下水処理場見学

下水道の仕組みや役割を実際に見て、感じていただけるよう、各下水処理場では施設見学を行っています。

見学では、流れてきた下水がどのような過程を経て川に放流されるのか、放流される水がどのくらいきれいになったのかなど、職員の説明を聞きながら、学ぶことができます。

また、下水をきれいにする微生物を顕微鏡で観察したり、下水汚泥の焼却施設を見たりすることもできます。

見学のほかにも、県の下水処理場の維持管理を行っている下水道公社職員が県内の小・中・高校等に出向き、下水道に関する講義、水質実験、微生物の観察などを行う、出前授業（移動下水道教室）を実施しています。



見学風景



見学風景



出前授業の様子



微生物の観察



施設見学の詳細についてはこちら